



旭山野鳥メモ③① ミヤマホオジロ

ミヤマホオジロ Yellow-Throated Bunting *Emberiza elegans* スズメ目ホオジロ科 (写真左=雄、右=雌)

北海道ではかつて迷鳥に近い数少ない冬鳥または旅鳥として記録されていたが今では春(3月下旬)と秋(10~11月)の渡りの時期に見られる。鳥自体の数が増えたのではなく、バードウォッチャーが増えたことにより観察される機会が増えたためと考えられ、実は以前から普通に春と秋に来ていた可能性がある。



見られる時期は春秋それぞれ1、2日から数日と短い、秋は年によりもっと長く見られることもある。

学名「エレガンスなホオジロ」の通り、雄の黄色い顔に黒い縁取りがきれいな色合い。黒い「前かけ」も特徴的で面白い。雌は顔が茶褐色で「前かけ」はないが、どちらにも目立つ冠羽があり、美しい。

高い木にはほとんどとまらず林縁部や笹が薄い林床など地面で採餌する。ホオジロよりも細い声で「チツ」と鳴き、姿は意外と探しやすい。稀に「ぐぜり」=不完全な囀りを聞くこともありその声もホオジロに似ている。

とても人気が高い鳥で、2021年1月に旭山に現れた際には情報を聞いた撮影者が集まり賑わった。温かみのある黄色い顔とともに、木々の葉が落ちて寂しくなった冬に明るい話題を届けてくれる鳥である。

2021年10月の野鳥トピックス

・シマエナガ: 森の家周辺でほぼ毎日午前中に一度は来ています。

カラ類混群に数羽いたり、10羽前後だったり、時には20羽以上の大きな群れだったりです ※不定期で出没マップ掲示します

・クイタダキ: 冬に向けて観察機会が増えてきました

・ウグイス: 10月に入り「ヂツ チツ」と笹藪で鳴き始めました

・アオジ: まだ見られますがそろそろいなくなる頃です

・カケス: 9月に見られましたがその後時々見るだけで今年は遅いか、あまり見られないかもしれません

・シメ: 毎年9月中には見られますが今年はまだ見られていません

・ツグミ: この秋は10月15日現在まだ見られていません

・クマゲラ: ときどき園内にも来ています ・オオアカゲラ: 観察機会が増えていきます



羽づくろいするシマエナガ

野鳥を愛称で呼ぶ

野鳥観察・撮影する人が増え、野鳥を愛称で呼ぶ人も増えてきました。今回は「愛称」の特集です。

◎ハシブトガラ(写真右)=ハシブ、ハシブー ※これは秀逸!

◎名前を短くして「ちゃん」「さん」「たん」をつける(つけないことも)

●シマエナガ=シマちゃん ●クイタダキ=ククちゃん

●シジュウカラ=シジュウちゃん ●ゴジュウカラ=ゴジュウちゃん

●コサメビタキ=コサメちゃん ●マミチャイナイ=マミちゃん(写真左下)

●キバシリ=キバちゃん ●コゲラ=コゲたん ●ミソサザイ=ミソ

◎季節限定メジロ ●桜とメジロ=サクジロー ●梅とメジロ=ウメジロー



◎変形 ●マヒワ=マッヒー ●ベニヒワ=ベッヒー ●フクロウ=ホーちゃん

◎定番 ●ハシブトガラス=ブト ●ハシボソガラス=ボソ 「=ナッキー

◎哺乳類も ●エゾリス=エゾリー ●シマリス=シマリー ●ナキウサギ

◎あまり愛称では呼ばれない鳥 ●オオルリ ●ツグミ ●ウソ ●アカゲラ

●クマゲラ ※「クマ」と短くすると熊と紛らわしいからか...

◎それは誰も言わない ●カワラヒワ=カワラちゃん ●ヒガラ=ヒガちゃん



公式サイト

「アカゲラ通信」 第95号 2021(令和3)年10月21日発行

(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351